



市内の視察から

予算決算委員会として、総務・文教・環境の3つの分科会管轄ごとに3日間26カ所市内施設をまわりました。

毎年のように視察するところもあれば、今回初めてのところもあります。最北端の泉から海岸線まで、課題の地域差もひしひし感じました。防災ひとつとっても、土砂災害に備える山間部と、津波や洪水、原子力災害への対処が必要な海岸線…

力のある人や企業の声は反映されやすいですが、なかなか声の届かないマイノリティ、弱い立場の市民の声を届けるのが議員の努め。私はやはり、生活する市民の幸せ感、満足度を上げたいし、声を上げる場が圧倒的に少ない女性の声を反映させたいと思います。？と思うところもありました。予算や決算の審査で意見反映を心がけていきます。

- 大東支所 放射線防御設備・子どもの居場所づくり
- 大坂地区まちづくり 住宅地・公園整備
- 小中学校トイレ改修
- 海岸線防災林・防災無線整備
- こども家庭センター など

6月定例会 一般質問

6/1(金) 13時から

①子育て支援の観点で、22世紀の丘公園内、屋内遊び場の利用料金見直しを

高齢者、障害者に減免があるのだから、子育て支援の観点で子どもと子育て世代にも市がお金を出してみんなが利用できるように工夫するのは当然ではないか、と思うのです。税金で仕事をするわけですから、何でも受益者負担でなく、責任持って子育て支援をしてほしい。何度も主張していることを今一度問います。

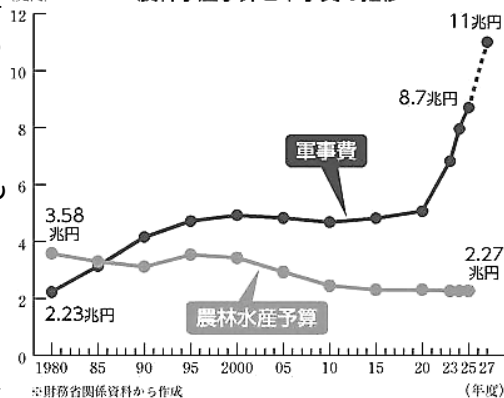
②市民一体でゴミ減量化の推進を「持たないを合い言葉にカーボンニュートラルを推進する条例」ができて1年。

可燃・不燃ともに全量が市の外で処理されている現状を市民に知ってもらわなくてはいいけません。広報かけがわ6月号(P6~9)で詳しく市の「ゼロウェイスト」(ごみを限りなくゼロに近づけることをめざす理念や活動)への取り組みを紹介しています。この理念で減量目標の前倒し達成をめざし、ダイレクトにごみ処理費用も減らす事を提案します。是非傍聴下さい。

令和の米騒動は自民党農政の結果です

日本の食糧自給率は38%と他国に例を見ない低さですが、それでもこれをお米の99%です。

農林水産予算と軍事費の推移



政府は農家

に減反を押し付け、民主党政権時に実現した所得補償制度も、第2次安倍自公政権が全廃。米作農家は2000年の175万戸から53万戸と1/3以下に。

お米を作っても暮らせない、そんな「ノー政」で、離職を加速させ、米の供給がままならない事態を生んでしまった。これが今回の根底にあるわけです。

備蓄米をどう出すか以前に、主食の米にさえ責任が持てない政治が悪い。

国民の命を守るために、参議院選挙で自民党政権にサヨナラの審判を下しましょう。

ガザでの虐殺

やめて！

食料支援の場や避難所などへの無差別殺りくは、非人道性の極み。

絶対許せません。



小笠山で出会った
キツリフネ

どちらも大切です。高額療養費限度額の引き上げをしないで！という声は現在難病などで治療を受けている方々にとって命に関わる切実な問題です。みろっこの高すぎる料金を何とかしてという請願は子育て真っ最中のお母さんから。経済格差で利用がでない家庭がうまれるようでは子育て支援になりません。

2本の請願紹介議員を

引き受けました

●高額療養費の自己負担上限額を引き上げないことを国に求める請願(住みよい掛川をめざす市民連絡会)
●22世紀の丘公園たまりな屋内遊び場mirroccoの利用料金見直しを求める請願